

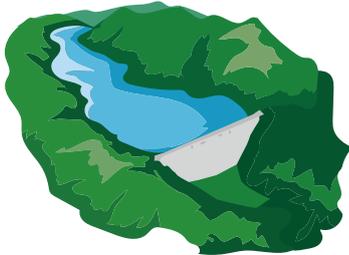
# ため池

## ため池の種類と構造

- ため池は、その形態により「谷池(たにいけ)」と「皿池(さらいけ)」に区分されます。
- 棚状に複数のため池が連なっているものは、「重ね池(または親子池)」と呼ばれています。

### ● 谷池

山間や丘陵地で谷をせき止めて造られたため池



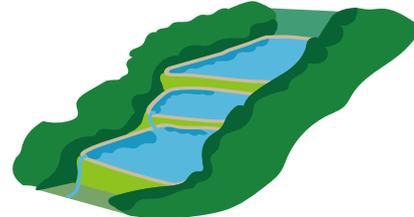
### ● 皿池

平地の窪地の周囲に堤防を築いて造られたため池

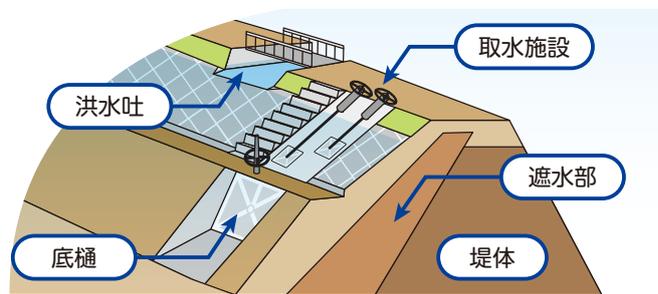


### ● 重ね(親子)池

棚状に複数のため池が連なっているため池



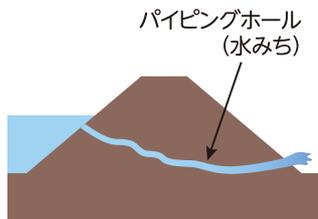
- ため池は、水をためる「堤体」、流入した雨水を安全に流下するための「洪水吐」、かんがい用水を取り入れるための「取水施設」などから構成されています。



## 豪雨によるため池の被災

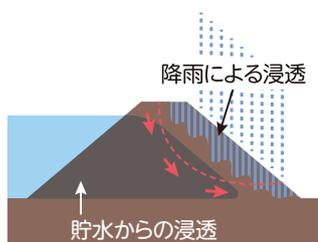
### ● 浸透破壊

堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。



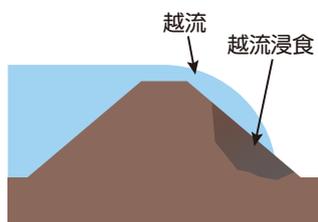
### ● すべり破壊

貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。



### ● 越流破壊

豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。



## 地震によるため池の被災

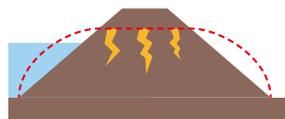
### ● クラック

堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。



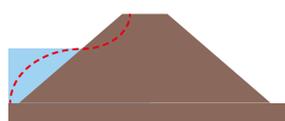
### ● 沈下

堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。



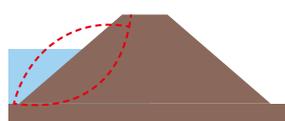
### ● 斜面崩壊

堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。



### ● 斜面すべり

地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。



### ● 崩壊

堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

